

第1回 日本漢字能力検定 試験問題

氏名

〔不許複製〕

7級 (A)

答えには、「常用漢字表」にある漢字の字体、読みを使うこと。旧字体を使ってはいけない。

答えは別紙(答案用紙)に書くこと。

(一) 次の一線の漢字の読みをひらがなで答えのらん に書きなさい。(20) 1×20

- 1 満開のつつじが山をいろどる。
- 2 つばめのひなが巢から顔を出す。
- 3 七夕の短ぎくに願いごとを書く。
- 4 梅ぼしの入ったおにぎりを食べる。
- 5 老いた愛犬が庭にねそべっている。
- 6 鏡の前で服そうを整える。
- 7 お客様に改まったあいさつをする。
- 8 佐賀県に住む親類の家に行った。
- 9 けんかをした友達と仲直りする。
- 10 文章を読んで要点をまとめる。
- 11 一日の気温の変化をグラフに表す。
- 12 午前中にひなん訓練が行われた。
- 13 先生の号令に合わせて体そうする。
- 14 全力を挙げて対戦チームにいどむ。
- 15 放った矢が的の中心に当たる。
- 16 連日の雨でダムの水かさがふえた。
- 17 朝早く漁船が沖へ向かう。
- 18 新商品の売り上げが順調にのびる。
- 19 新聞記者が事故の様子を取材する。
- 20 灯台もと暗し

(二) 次の各組の一線の漢字の読みをひらがなで答えのらん に書きなさい。(10) 1×10

- 1 新しい体育館が完成した。
- 2 漢字の成り立ちを辞典で調べる。
- 3 さいふから千円札を取り出す。
- 4 トランプの札を全員に配る。
- 5 熱湯に塩を入れてえだ豆をゆでる。
- 6 母は食後に熱いコーヒーを飲む。
- 7 まどを開けて浴室をそうじする。
- 8 新記録を出して注目を浴びる。
- 9 地下鉄が開通して便利になった。
- 10 転校した友人から便りがとどく。

(三) 次の一線のカタカナに合う漢字をえらんで答えのらん に記号で書きなさい。(20) 2×10

- 1 駅前の商店ガイへ買い物に行く。(ア害 イ街 ウ外)
- 2 ぎっしのフ録を毎月楽しみにする。(ア付 イ府 ウ不)
- 3 姉が梨の皮をキ用にむいている。(ア季 イ希 ウ器)
- 4 かぜが治るまでアン静にす。 (ア暗 イ案 ウ安)
- 5 目ヒョウを立てて勉強にはげむ。(ア標 イ表 ウ票)
- 6 算数で広さの単イを学習する。(ア以 イ衣 ウ位)
- 7 水の温まり方を調べる実ケンをした。(ア建 イ験 ウ健)
- 8 キョウ通の話題で会話がはずむ。(ア協 イ共 ウ競)
- 9 ボランティア活動に参カする。(ア加 イ貨 ウ果)
- 10 農作物の品種改リョウが進む。(ア料 イ量 ウ良)

(四) 次の上の漢字の太い画のところは筆順の何画目か、下の漢字の総画数は何画か、算用数字(1、2、3...)で答えなさい。(10) 1×10

10	9	8	7	6	5
要	種	典	節	康	
10	9	8	7	6	5
連	機	鏡	満	熱	

(五) 次の漢字の読みは、音読み(ア)ですか、訓読み(イ)ですか。記号で答えなさい。(20) 2×10

10	9	8	7	6	5
帯	兆	祝	孫	勇	
10	9	8	7	6	5
辺	初	飯	無	折	

(六) 後の の中のひらがなを漢字になおして、意味が反対や対になることば(対義語)を書きなさい。
 の中のひらがなは一度だけ使
い、答えのらん に漢字一字を書きなさい。(10) 2×5

室内	室内	室内	室内	室内	室内
海	洋	始	年	泣	期
大	一	一	一	一	一
1	1	2	2	3	4
外	外	外	外	外	外
下	下	下	下	下	下

しつ・てい・まつ・りく・わら

7級

(A)

(七) 次の——線のカタカナを○の中の中の漢字と送りがな(ひらがな)で答えのらんに書きなさい。(14) 2×7

〈例〉正 タダシイ字を書く。 正しい

1 包 さくらの葉でもちをツツム。

2 唱 おまじないの言葉をトナエル。

3 冷 ツメタイ水をコップに注ぐ。

4 争 全国大会で優勝をアラソウ。

5 必 交通ルールはカナラズ守る。

6 試 別の方法をココロミル。

7 覚 顔をあらってねむ気をサマス。

(八) 次の部首のなかまの漢字で□にあてはまる漢字一字を、答えのらんに書きなさい。(20) 2×10

〈例〉イ(にんべん) 体カ・工 作

ア言 (ごんべん)

小 1 会 2 放 3 後

イ木 (き)

4 来 5 養 6 花

ウサ (くさかんむり)

野 7 発 8 語 9 語

学 10 会

(九) 次の——線のカタカナを漢字になおして答えのらんに書きなさい。(16) 2×8

1 水道カンの取りかえ工事が始まる。

2 音楽にカン係のある仕事につきたい。

3 自分勝手な行動を反セイした。

4 作文を原こう用紙にセイ書する。

5 グン手をはめて庭の草をぬく。

6 マグロの大グンが太平洋を泳ぐ。

7 ヘチマの観サツ日記をつける。

8 遠足のしおりを印サツする。

(十) 上の漢字と下の□の中の漢字を組み合わせ、二字のじゅく語をつ作り、答えのらんに記号で書きなさい。(20) 2×10

〈例〉校 ア門イ学ウ海エ体オ読
イ校 校ア

一、信 ア想イ通ウ求エ副オ用

1 信 信 2

二、民 ア話イ徒ウ市エ倍オ昨

3 民 民 4

三、給 ア械イ水ウ幸エ配オ倉

5 給 給 6

四、固 ア強イ軽ウ残エ定オ牧

7 固 固 8

五、積 ア主イ博ウ雪エ努オ体

9 積 積 10

(十一) 次の——線のカタカナを漢字になおして答えのらんに書きなさい。(40) 2×20

1 ふりツツいた雨がようやく上がった。

2 参道の両ガワにあじさいがさく。

3 夜の川辺をほたるがトびかう。

4 金魚ばちのソコに白い石をしく。

5 ゆうびん局で記ネン切手を買う。

6 父は自動車工場でハタラいている。

7 夏休みにとまる旅館を予ヤクする。

8 運動ぐつのひもをムスび直す。

9 学校にかさをオきわすれた。

10 チャイムが鳴って着セキする。

11 ノートに半ケイ五センチの円をかく。

12 道トクの時間に命について考えた。

13 校庭で一リン車に乗って遊ぶ。

14 児童会役員のセン挙が行われる。

15 ハタをふって味方をおうえんする。

16 売り場に地元の特サン物がならぶ。

17 お茶は中国から日本にツタわった。

18 国会で大ジンが質問に答える。

19 南キョクは雪と氷におおわれている。

20 スきこそ物の上手なれ

氏名

Blank box for name entry.